

iv. J-Adviserとは



専門家集団によるサポート？
J-Adviseって何ですか？

J-Adviserは、東京証券取引所から承認を受けて、東京証券取引所に代わり上場希望会社の上場審査をしたり、上場後は担当する企業の情報開示やファイナンスの手続きをサポートする機関です。TOKYO PRO Marketの大きな特徴かつ重要なポイントなので少し詳しく解説しますね。



J-Adviseの主な役割

上場審査機能

- ・上場適格性の調査・確認の実施

上場後の支援

- ・上場適格性の維持管理
- ・上場企業の情報開示のサポート
- ・上場企業の資金調達のサポート

J-Advise一覧

- 野村証券株式会社
- 大和証券株式会社
- SMBC日興証券株式会社
- みずほ証券株式会社
- 三菱UFJモルガンスタンレー証券株式会社
- フィリップ証券株式会社
- 株式会社OKINAWA J-Adviser
- リーディング証券株式会社
- GCA FAS株式会社

①J-Adviser制度について(1/2)



J-Adviseって重要なんですね？では、ここからは開設お願いします

はい、では、ここからは質問なしで解説していきます。まずは、J-Adviser制度についてです



先にご説明したようにTOKYO PRO Marketは、ロンドン証券取引所が開設するAIM市場を参考にTOKYO AIMとして設立されました。

J-Adviser制度は、ロンドンAIM市場のNominated Adviser(通称Nomad)制度を参考に採用された制度です。

東京証券取引所は、一定の資格要件を満たし、資格を認証したJ-Adviserに対して特定業務(上場又は上場廃止に関する基準又は上場適格性要件に適合するかどうかの調査等)を委託します。

J-Adviserは、担当する会社に対して、上場前の上場適格性の調査確認、上場後の適時開示の助言・指導、上場維持要件の適合状況の調査を行います。

図で示すと次のページのようなイメージです。

① J-Adviser制度について(2/2)



② J-Adviserの役割

J-Adviserの役割

J-AdviserはTOKYO PRO Marketの申請会社にとって**重要なパートナー**です。

上場準備段階では、申請会社は担当J-Adviserとの間で『**J-Adviser契約**』を締結しなければならず、J-Adviserとともに上場準備を進めることとなり、**上場後もJ-Adviser契約が有効に維持されることが上場維持の前提**となります。

J-Adviserは必要に応じて外部の専門家(弁護士、監査法人、公認会計士等)と協力体制を構築して、申請会社の上場適格性の調査・確認を行うとともに、上場申請会社のアドバイザーとして、**上場申請から上場までの一連の事務手続きをリードする役割**を担います。

上場準備段階においては、必要に応じて申請会社の上場に向けた資本政策や社内体制整備のアドバイスをを行います。

上場後においても、資金調達や企業のIR(インベスター・リレーションズ)活動の支援を行います。

J-Adviserが証券会社の場合、主幹事証券として上場時及び上場後の特定投資家向け取得勧誘又は売付け勧誘等の引き受けを行う場合もあります。